

グリークラブより

我が部創立委員たりし、片山、和田、村瀬
森田等の諸兄を送り、グリークラブ昭和二
年度(二年目)は、本春始業式と共に初まつ
たのである。

今靜がに、過去一ケ年間の生活を回顧す
る時、それはすべてを放棄しての藝術への躍
進であり、血と涙との生活であつた。四時
の行樂も外に、我等は文字通り連日連夜の
練習を續けて來た、そして遂に創業の日も
淺き我が部も、美はしき永遠に盡きざる榮
譽をうるに至つたのである。

寶塚大劇場に於いて——

親愛なる校友諸兄は既に御承知の事とは
思ふ、我が部は遂に關西樂壇に名を成せり。

十一月二十六日。我等は深い不安と動搖
と、かゝる動搖の勝利への幾分かの肯定、
複雑にも錯綜せる心算を懷いて、寶塚交響
樂協會主催第一回合唱競演會に出場したの

だつた。

此の日、大大阪北方寶塚の夜は靜けく、
晩秋の星の光も清く、來たり會する者、彼
の大ホールに滿ち、我等はすべてを忘れて
歌つたのである。

遂に我等は、當夜第三等入選たりえたの
である。我等は彼のステーション上に、燦たる
優勝盃を手に、暫し狂喜したのでつた。
しかも次に見らるゝ如く好成績、しかも

よく學生團體中第一位たりえたのである。
當夜のプログラム

開會の辭

管絃樂

一、神戸若葉會混聲合唱團

出演者 三十五名

イ、靜けき夕べ

ロ、夢みつゝ來れ

二、關西學院グリークラブ 二十九名

イ、草笛

ロ、美しきトレ

三、大阪ダミシユテンコール 四十三名

イ、千守唄

ロ、祝歌

四、大阪高商グリークラブ

イ、アヴェマリア

ロ、桶屋の歌

五、神戸高商グリークラブ 二十六名

イ、追憶の鐘

ロ、戦は生まれり

六、セレストアイーナ合唱團(神戸)十一名

イ、ウントロイエ

ロ、鶯

七、大阪外語グリークラブ 二十五名

イ、ラーボードウオツチ

ウイリヤムス

ロ、新世界交響樂

ラルゴ「故郷へ」ドホルシヤツク

八、大阪高工グリークラブ

イ、船出

ロ、ニウメドレイ

アトキンソン

女聲合唱

管絃樂

審査發表

審査の結果——

入選

一等神戸セレスティーン合唱團

得點 八四・三四

二等大阪デミジホテシヨール

八四・〇〇

三等本校グリークラブ

八一・五五

選外

神戸若葉混聲合唱團

七九・〇〇

關西學院グリークラブ

七八・〇〇

大阪高商グリークラブ

七五・〇〇

神戸高商グリークラブ

七三・〇〇

大阪高工グリークラブ

六九・〇〇

かく我等の努力は、遂に關西樂壇によつてよりよく評価され、しかも創業の日も尚

「第一歩」の歩みを進められたのである。

「第一歩」の歩みを進められたのである。

しき希望その中に、美はしくも本年度の活躍を終りうるのである。

朝日會館に於て——

更に我が部に於いて特筆すべきは、寶塚

遠征に先き立ち、

十一月三日 明治館制定記念關西専門學

生音樂大會出演の事である。

此の日、我が部は我が大阪外語音樂部を

代表して出演せしものである。そして多数

諸賢の熟知せらるゝ如く、我等は優々我が

音樂部をして、關西に重きななすしめたの

である。

此の日我が部のプログラム

一、秋の夜

ローシユルツ

二、ラーゴードウオツサロイリヤムス

三、薔城の月

田中銀之助編曲

合唱競演會にせよ、關西學生音樂大會に

せよ、本年が最初であり、しかも如上の成

績は我が部をして優に學生コーラス團とし

ては、オール關西全關西に冠たらしめん

となすも、決して過言ならずと信す。以て大阪外語音樂部史上に特筆大書さるべき事にて、本年度當初以來碎身事に當りし幹部の、最も喜びとなす處である。

我等の本年度の活躍もかゝる光榮の中に終り、我等は此處にあの講堂の二階に、晩秋の短い落日の餘光をたよりの、あの涙の練習を想起して、しかもあのステアーの上の堂々たる奮闘を省みて、美しくも努力なしたる部員諸賢に感謝すると共に、終始多大の御後援を賜つた二、三の先進諸家並びに校友諸兄に心からの感謝の意を表するものである。

しかも我がグリークラブの歩みは永遠である、最盛期も期して來年度にあり、我が部に培はるゝ美はしくも流れは、必ずやよりよき榮譽を諸君の頭上に持ち來たすならん。

以上は昭和二年度の我が部の活躍の主なものである。